

立教大学競技ダンス部を卒部してから、早いもので20年が過ぎました。今、振り返ってみても楽しかったこと、苦労したことなど様々な思い出があり、一生忘れられない貴重な大学生活を送ることが出来ました。また仕事の関係で関東から遠く離れていますが、このような形で赤れんが通信に参加でき、今でも競技ダンス部とつながっていることを嬉しく思います。

私が競技ダンス部と出会ったきっかけは、新歓活動時に一番初めに声をかけられて何かの縁かと思い、立ち止まり説明を聞いたことが始まりです。ダンスには全く興味はないけど、飲み会だけでも…と思い、新歓パーティに参加いたしました。飲み会では親身に面倒をみってくれる先輩や、打ち解けて話し合える仲間に出会い、いつの間にか自然に練習会に参加していました。夏合宿では長谷屋に宿泊し、鎌田先生に直に指導を頂いた事もいい思い出です。ダンスに興味をもち始めたのは一番初めに参加した競技会の明法立戦でラテンの部で優勝した頃です。次も競技会で優勝したいという気持ちで、ひたすら毎日の様にダンスを練習していました。その後はなかなか成績を伸ばす事が出来ずに悔しい思いをしましたが、2年生の時には立教競技ダンス部OBの高橋秀尚先生のダンス教室に通い、先生の指導の下、基礎からやり直しを致しました。練習は厳しいものでしたが徐々にではありますが成績が上向き始めました。私が在籍していた頃の立教競技ダンス部の成績は関東でも最下位に近く、また部員数も少なく、非常に厳しい状況でした。その中でも多くのOB・OGの諸先輩方が積極的に練習会に参加していただき、後輩の指導・育成に努めて頂いた事を心から感謝申し上げます。私も後輩の憧れの存在になりたく、毎日の様にダンスの練習に励んでおりました。そして4年生の時には六大学戦で決勝戦に進出でき、後楽園ホールのスポットライトを浴びて、後輩の前で踊ることが出来ました。当時の1年生からも「先輩の踊っている姿をみて入部を決めた」と言ってくれる後輩もあり、4年間ダンスを続けていて一番良かったと思える瞬間でした。その後、後輩達は全国大会で成績を残し、立教大学競技ダンス部復活のターニングポイントを迎えることが出来ました。競技ダンス部を通じて、良き仲間に出会うことが出来き、共に大学生活を分かち合えた事は一生の宝です。

大学卒業後はイオンリテール株式会社(旧ジャスコ)に入社し、現在は東北中心に仕事をしています。入社後は食品売場主任に就任しました。2011年の東日本大震災時には宮城県多賀城市の店舗に務めており、店舗が3mの津波被害を受け、約半年間営業を中止しました。また社宅も津波被害を受け、約1カ月避難所暮らしをしつつ、仕事をしておりました。休業中及び仮営業の間、私は食品の責任者として運営を任されました。その時、競技ダンス部の主将としてチームをまとめてきた経験が活かされたと感じました。その後は店舗の食品販売課長として、食品フロアの責任者を任された後、ここ数年は人事総務課長として、店舗の後方業務の責任者として仕事に励んで参りました。今年3月からは東北本部(仙台市)の総務グループに就任し、気持ち新たに業務知識の習得に取り組んでいます。また子供2子(長女:彩楓3歳・長男:結翔1歳)にも恵まれ、子育てにも奮闘中です。

また機会がございましたら、活動にも参加したいと思っておりますので、その際には是非宜しくお願い致します。また只今、新型コロナウイルスで大変な渦中ですが、皆様くれぐれもご自愛ほど宜しくお願い申し上げます。